

「甲状腺機能低下症とインフルエンザワクチンとの関係」

土橋 晃子（日本ホメオパシーセンター 東京総本部）

JPHMA 認定ホメオパス No.0925

ZEN メソッド修得認定 No.0325

JPHF 認定インナーチャイルドセラピスト No.0341

【要約】

穏やかで何事も良いといわれることに真面目に取り組み、様々な薬を積極的に取り入れて来られた方です。ホメオパシーは娘さんから勧められたとのことでした。ホメオパシーを始めてから、長年不安にさせられていた胸痛が改善、甲状腺機能低下症を示す TSH の値も改善しました。相談会の途中でインフルエンザワクチン接種により症状が一時逆戻りしますが、再度改善して行きました。

【主訴】

70 代 女性

① 胸痛（原因不明、1997 年から毎月 1 回 20 分間位）

① 甲状腺機能低下症（2019 年 5 月 TSH 7.84 μ IU/ml（正常値（0.5~5.0））、甲状腺良性腫瘍あり

付随症状：疲労感、外反母趾、骨粗鬆症、不眠、夜尿症、中性脂肪、胆石、静脈瘤、結節性紅斑、花粉症、扁平足、HbA1c 6.2 で少し高め 頸動脈石灰化

【経緯】

これまでの病気怪我：急性腎炎、虫垂炎、鼠径ヘルニア、ムチ打ち

薬：カルシウムサプリ、VD サプリ、骨粗鬆症用注射、ロスバスタチン、ウルソデオキシコール酸ベタニス、チラージン S 錠 12.5mg、たまにロキソニン、インフルエンザワクチン（毎年）

幼少期から家族仲、学校生活、仕事環境全てにめぐまれ、真面目に楽しく有意義に感謝を持って過ごしてきた。

唯一辛かったことは 60 才代の 4 年半に及ぶ義母の介護だった。

【手法】

- ・ 食事見直し：炭水化物の摂取を減らす（血糖値）、コーヒーを辞める（カルシウム代謝）菓子パン、ファーストフードを減らす。
- ・ カルシウム代謝：インフルエンザワクチン、骨粗鬆症注射、VD サプリを見直し、太陽を浴び、運動することをすすめた。
- ・ 4年半にわたる義母の介護の苦労をねぎらう。
- ・ TBR 検索によるレメディー選択

・ 1 回目 相談会 2019/8/16

1 : 640# 2. 系統 - 5. 心臓血管 - 1. 心臓 - 心臓(と縦隔)全般 :

2 : 650# 2. 系統 - 5. 心臓血管 - 2. 血管 - 縫われるような(突き刺すような、ちくちくする)痛み :

3 : 652# 2. 系統 - 5. 心臓血管 - 2. 血管 - 静脈瘤 :

4 : 227# 1. 部位 - 2. 胴 - 1. 首(および喉) - 首の腺(および顎下腺・リンパ節および唾液腺) : - 甲状腺(甲状腺腫を含む) :

5 : 448# 2. 系統 - 2. 泌尿器 - 2. 排尿 - 頻繁な :

6 : 1216# 3. 全般 - 3. 全般 - 3. 骨(および骨膜)全般 - 骨の堅さを失う(骨粗鬆症) :

7 : 839# 3. 全般 - 2. 睡眠 - 4. 不眠 - 不眠が、その他の病訴によって引き起こされる :

8 : 840# 3. 全般 - 2. 睡眠 - 4. 不眠 - 目覚める、いったん眠った後に(再び眠ることができない) :

9 : 1063# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 反応性(生理的な) - 過剰な(アレルギー、など) :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Merc.	8	25	2	2		2	4	4	4	3	4
2	Calc.	8	20	4		2	2	2	3	4	2	1
3	Sulf.	8	20	4		3	1	2	3	3	3	1
4	Lyc.	8	19	3		3	1	2	4	3	1	2
5	Sil.	8	19	1		2	1	2	3	3	4	3

随時：MT)サポートφ心臓+ Kali-i 12X+ Iod 6C+ Parathyr-gl 6C+ Stront-c 6C+ Pitu-gl 12C

朝：Calc-f LM01

昼：Syph LM02+ Tub LM02

夜：Merc-sol LM03

サポート心臓は長年の胸痛と、チラージンの副作用の「胸の痛み、圧迫感、狭心症」より選択

Calc-f は甲状腺腫、動脈硬化にあうということで選択

Syph+Tub 骨の破壊傾向、弱さ

TBR トップの Merc-sol はワクチンによる水銀の影響、 様々な症状をお持ちの為

義母の大変な介護をされたということで誰からも充分にねぎらわれていないように思われたので、ご自身のご苦勞をしっかりとねぎらうようにして下さいとお伝えしました。

【結果】

- 胸痛がこの 2 か月間一度もない
 - 夜尿 2 時間おき
 - 顎関節症 出る
 - くよくよしなくなった。気持ち楽になったと大変喜んでおられました。
-

2 回目から 6 回目相談会中に、新たに出現した顎関節症を改善し紅斑がなくなりました。心臓、甲状腺、骨、腎を主にサポート カルシウム系、Iod、Spong、Merc などをメインでお出ししました。

胸痛が約 7 カ月間の間に、軽いものが計 3 回 以前の半分の長さになっています。

足首が痛いのはコレステロールを下げるロスバスタチンという薬の横紋筋融解症が原因ではないかと疑われご自身の判断で量を減らしたら結果 LDL コレステロール 103→141 となりました。心配する程ではないように思えますがご本人は不安でまた再開されました。

その後、甲状腺刺激ホルモンである TSH がまだ高い為、甲状腺のお薬であるチラージン S 錠を 2 倍に増量されました。しかし改善せず、結局 3 倍まで増量されましたが、TSH は依然、基準値より高いままです。

• 7回目 相談会 2020/8/21

1 : 227# 1. 部位 - 2. 胸 - 1. 首(および喉) - 首の腺(および顎下腺・リンパ節および唾液腺) : - 甲状腺(甲状腺腫を含む) :

2 : 1190# 3. 全般 - 3. 全般 - 2. 腺 - 腫脹(腫瘍) :

3 : 448# 2. 系統 - 2. 泌尿器 - 2. 排尿 - 頻繁な :

4 : 640# 2. 系統 - 5. 心臓血管 - 1. 心臓 - 心臓(と縦隔)全般 :

5 : 962# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 鈍い - 痛み :

6 : 1126# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 腫れ[腫脹] - 浮腫性の(水腫性の) - 外側部分に :

7 : 1482# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 結節(小節、隆起、節、こぶ、腫れ、膨疹) : - 赤い :

8 : 1216# 3. 全般 - 3. 全般 - 3. 骨(および骨膜)全般 - 骨の堅さを失う(骨粗鬆症) :

9 : 652# 2. 系統 - 5. 心臓血管 - 2. 血管 - 静脈瘤 :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Sil.	9	18	1	3	2	1	2	2	2	3	2
2	Lyc.	8	21	1	4	2	3	1	3		4	3
3	Phos.	8	16	1	4	2	3	1	1	1	3	
4	Merc.	7	20	2	4	4	2	1	3		4	
5	Sulf.	7	20	1	4	2	4		3		3	3
6	Puls.	7	18		3	1	4	1	3		2	4
7	Calc.	7	18	2	3	2	4	2			3	2
8	Nat-c.	7	17	3	3	3	2	2	1	3		
9	Rhus.	6	15		4	4	3	1	2		1	

随時1 : MT)サポートφ 甲状腺+ Calc-p 12X+ Mag-p 12X+ Kali-c 6C+ Horm-Est-HD 9X+ Brom 12X

随時2 : MT)ラリックスケンフェリ (カラマツ) + Kali-s 12X+ Vanad 12X+ Nat-m 12X+ Glon 6C+ Dig 6C

朝 : Sil LM06

昼 : Tub LM07+ Psor LM07

夜 : Nat-c LM06

Sil 甲状腺腫 骨粗鬆症 静脈瘤 動脈硬化 肥満に

Nat-c 甲状腺腫 骨の弱さ

サポートのカラマツは動脈硬化、心筋梗塞、糖尿病、高コレステロール血症、高脂血症に

【結果】

2020/10/14 **TSH 3.9** に基準値まで下がりました。10月になっても胸痛ありません。8回目には糖尿の数値が気になったので膵臓をサポート。

その後 10月中に病院でインフルエンザワクチンをおすすめされ、断れずにうってしまいましたとの事でした。

9回目の相談会では肝臓の数値が気になったので肝臓をサポート。

その後の11月の検査では**頸動脈石灰化**を検査で指摘されました。

1月の甲状腺TSHの検査では、基準値を大きく外れる **TSH 8.26** に逆戻りが発覚。
コレステロールも中性脂肪も大きく基準値を上回ってしまいました。

• 10回目 相談会 2021-02-12

1 : 227# 1. 部位 - 2. 咽 - 1. 首(および喉) - 首の腺(および顎下腺・リンパ節および唾液腺) : - 甲状腺(甲状腺腫を含む) :

2 : 1042# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 肥満(太る) :

3 : 1190# 3. 全般 - 3. 全般 - 2. 腺 - 腫脹(腫瘍) :

4 : 301# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 1. 内臓(臓器) - 肝臓(およびその部位) :

5 : 1126# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 腫れ[腫脹] - 浮腫性の(水腫性の) - 外側部分に :

6 : 448# 2. 系統 - 2. 泌尿器 - 2. 排尿 - 頻繁な :

7 : 1482# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 結節(小節、隆起、節、こぶ、腫れ、膨疹) : - 赤い :

8 : 287# 1. 部位 - 3. 体肢 - 2. 下肢 - 脚 : - 前面(脛部) :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Nat-c.	8	19	3	2	3	2	1	3	3	2	
2	Sil.	8	16	1	2	3	2	2	2	2	2	
3	Merc.	7	23	2	2	4	4	3	4		4	
4	Lyc.	7	18	1	3	4	3	3	2		2	
5	Kali-c.	7	18	1	1	3	4	3	3		3	

前回大きく回復した適用書を参考に以下を適用書としてお出しました。

随時 1 : MT)サポート φ 甲状腺+ Hypoth 12X+ Pitu-gl 12X+ Antibiot-C-D 30C+ Merc-sol 30C+ Sel 12X

随時 2 : MT)ラリックスケンフェリ (カラマツ) + Syc-co 15C+ Cupr-ar 12X+ Plastic 200C+ Vanad 12X+ Horm-Est-HD 9X

朝 : Sil LM02

昼 : Tub LM03+ Psor LM03

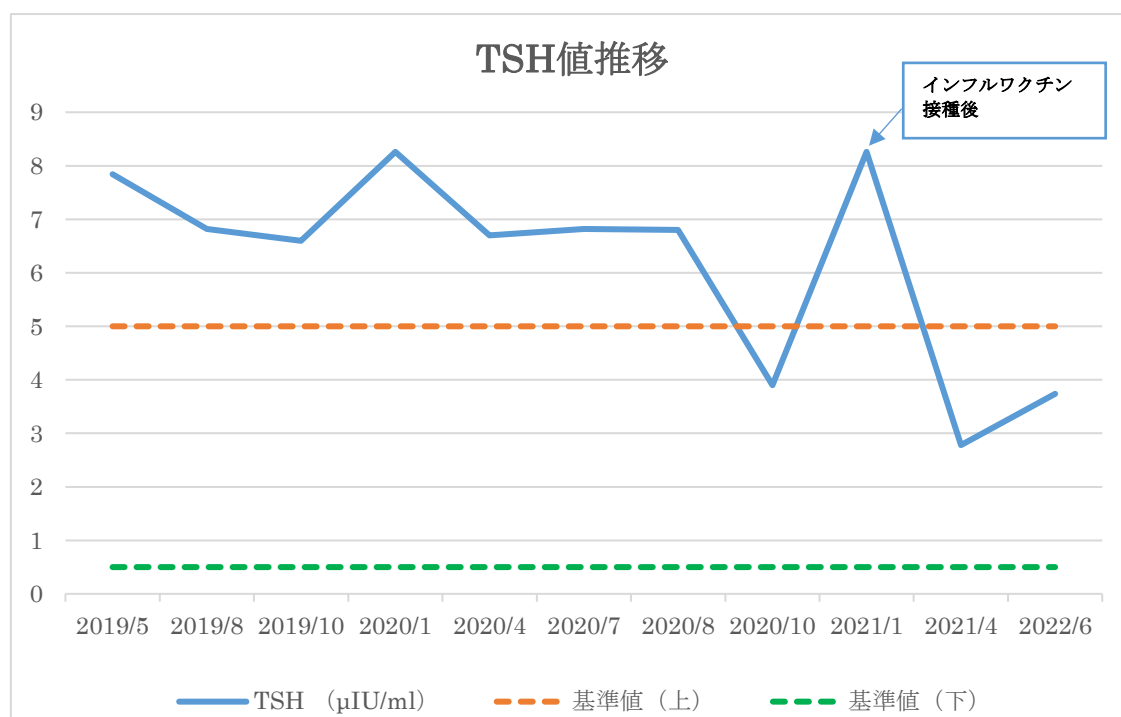
夜 : Nat-c LM04

【結果】

TSH 2.78 の基準値内に治まり、コレステロール、中性脂肪も正常値に治まりました。頸動脈石灰化も今回改善しています。

グラフにするとこのようになります。

緑線と赤線内が基準値です。逆戻りしているところがインフルエンザワクチン接種後です。



【考察】

多くの薬剤が入っている高齢の方なので代謝がゆっくりで好転反応を大きく出す力はなかったですが、時間をかけて症状は改善に向かいました。

甲状腺の薬のチラージンは増やしても数値に改善が見られませんでした。そして、インフルエンザワクチン接種後には TSH 値の悪化、中性脂肪コレステロール値の悪化、頸動脈石灰化が見られました。それらはホメオパシーの実践後に改善を見ることが出来ました。

ホメオパシーによる自己治癒力を体感することで、恐怖を元に長年植え付けられた薬が全てを治すという価値観を変換していく事が重要になると思います。

又、相談会を通して感じる事は現代人は自分の事を本音で沢山話をする機会があまり無いということです。こちらの方も相談会で話をするだけで、元気が出た！頑張る勇気がわいた！と帰っていかれることが多く、自分のことを話す時間は必要だとしみじみ思いました。